

# スポーツテストの現状と問題

## 一 岡山県におけるスポーツテスト(運動能力テスト)結果の地域的分析 一 昭和42年度との比較において

白 神 克 義

### I 目 的

先に、「県内中学生の体格は田舎よりも都会が勝れている。」という結果を発表したがこれは全国的な傾向であり、猪飼氏も「近年の青少年は早熟であり、この傾向は田舎よりも都会において顕著である。その原因は近代文明による環境が、精神的、身体的に持続した興奮の状態をひきおこし、成熟を促進するのではないか。それにひきかえ、年令上多少の相違はあるが運動能力面の発育がよくない。」等述べている。かかる現状において、昨年にひきつづき、小・中学生のスポーツテストのうち、運動能力テストを取り上げ地域的に分析し、前年度(昭和42年度)と比較検討することにより、各地域の特性を明らかにし、行政、管理面に役立てようとするものである。

### II 調 査

#### 1) 期 日

○昭和43年10月～11月

#### 2) 対 象

○岡山県内公立小学校558校(5, 6年男女)中学校207校(各学年男女)

#### 3) 方 法

○文部省体育局の昭和43年度体力運動能力実施要項に基づき調査票を作成し、小学校は各校2部、中学校は各校3部を各市教育委員会、各教育事務所を經由して配布、回収した。

#### 4) 回収、集計

○回収した調査票は下記の地域分類に従い各種目(7種目)の平均値を求めた。

#### 地 域 分 類

イ 鉱業市街	チ 山 村
ロ 工業市街	リ 小 都 市
ハ 商業市街	ヌ 都市近郊農村
ニ 住宅市街	ル 農 山 村
ホ その他の市街	ヲ 純 農 村
ヘ 鉱 山	ワ 普 通 農 村
ト 漁 村	カ ヘ き 地

○県内各学校を左記のように分類し、それを下記6地区にまとめた。

- I ……ハ, ニ
- II ……イ, ロ, ホ
- III ……ヲ, ワ
- IV ……チ, ル
- V ……ヘ, リ, ヌ, ト
- VI ……カ

以下、各地域を代表して、数字I, II, III, IV, V, VIで記述した。

○各調査票は一連番号を付し、小学校においては $\frac{1}{2}$ の無作為抽出、中学校においては全校抽出し、集計した。小学校回収率86.6%, 集計率83.1%, 中学校回収率92.0%, 集計率87.5%であった。

## 5) 集計結果

◦集計した結果は第1表から第5表までである。

### Ⅲ 結果の考察

テスト種目は、50m走・走り幅とび・ハンドボール投げ（小学生はソフトボール投げ）・懸垂屈伸（中学生男子）・斜懸垂屈伸（小学生男女，中学生女子）・持久走（中学生男子は1500m走，同女子は1000m走）・ジグザグドリブル（小学生）・連続さか上り（小学生）の7種目について行なった。各種目ごとに，性・地域・年齢別平均値を出し（第1表から第5表），年齢別に記録の良い方から順番に1～6位まで順位をつけまとめたのが第6表～第11表，表中の左側は昭和43年度，右は42年度である。以下，①では各種目ごとに地域に視点を置き，性・年齢・年度について考察し，②では各地域別に種目に視点を置き考察した。

#### ① 種目別

◦50m走

第6表より，男子についてみると，各年齢にわたり高い順位を占めている地域としてⅢがあげられる。順位の場合，数が小さい程順位が高く記録もよいと言える。記録の低い地域としてⅥがあげられ，合計23が示すように6地域中最下位である。42年度と比較すれば，1位に変動がみられるが，最下位には変動がなくⅥで記録の低さが目立っている。女子では1位がⅡで最下位はⅥである。42年度と比べれば，1位と最下位では同様の傾向を示している。男女とも共通しているところはⅥで，これは地域的特性とみなしてよいであろう。50m走についてまとめると，Ⅰ・Ⅱ・Ⅴの地域はⅢ・Ⅳ・Ⅵの地域に比べ全般的に勝れている。即ち都会に行くにつれて勝れているといえよう。第14表より年齢別にみると中学生男子は，42・43年度ともほとんど全国平均を上回り，女子はほとんど下回っている。

第6表 50m走における地域的順位

地域 性	年度 年齢	43年度						42年度					
		14	13	12	11	10	合	合	10	11	12	13	14
		男	Ⅰ	①	2	2	5	6	16	12	3	3	2
	Ⅱ	2	4	1	3	5	15	13	4	6	1	1	①
	Ⅲ	3	1	2	1	1	8	14	1	2	2	4	5
子	Ⅳ	5	5	5	2	2	19	22	4	6	5	5	②
	Ⅴ	6	3	2	4	4	19	14	2	1	4	3	4
	Ⅵ	3	6	6	5	3	23	28	6	5	5	6	6
女	Ⅰ	2	3	4	5	3	17	15	3	5	1	2	4
	Ⅱ	3	1	2	2	①	9	8	3	①	2	1	1
	Ⅲ	5	2	5	①	3	16	15	1	4	3	4	3
子	Ⅳ	①	4	1	4	2	12	21	3	3	5	6	4
	Ⅴ	4	5	2	3	5	19	13	2	2	4	3	2
	Ⅵ	6	6	6	5	6	29	28	6	6	5	5	6

(註) 合……地域別順位の合計を意味する。

順位につけている○印は県平均，全国平均値ともに上回っているもの  
年齢で10・11才は小学生，12・13・14才は中学生である。

第6表から第11表までは上記の通りである。

。走り幅とび

第7表より男子についてみると、地域別順位では1位がⅢ、次にⅤ・Ⅰの順で42年度と同じで、両年度とも地域別に大差はない。女子43年度では1位がⅠ、次にⅢ・Ⅱ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅳの順となっている。42年度では1位がⅡ、次にⅢ・Ⅳ・Ⅰ・Ⅴ・Ⅵの順である。男子と同様42・43年度との間に共通点が見受けられず地域的特色のない種目であると言えるが全般的にⅠ・ⅡのほうがⅤ・Ⅵより勝れている。即ち都会のほうが田舎より勝れているといえよう。全国レベルの観点に立って42・43年度を眺めれば、○印が示すごとく女子では変化なく、男子ではかなりの向上が見られる。第14表よりみれば、中学生男子では全国平均をほとんど上回っているが、女子では42・43年度とも全国平均を下回り、中でも第7表に示す通り、へき地の女子が1段とレベルを下げています。

第7表 走り幅とびにおける地域別順位

地域 性	年齢	43年度						42年度					
		14	13	12	11	10	合	合	10	11	12	13	14
男子	Ⅰ	②	①	2	5	6	16	18	6	5	2	3	②
	Ⅱ	6	③	①	6	5	21	21	4	6	5	②	4
	Ⅲ	3	①	4	①	②	11	10	2	3	①	①	3
	Ⅳ	4	5	2	4	4	19	22	3	4	6	4	5
	Ⅴ	①	④	5	3	①	14	14	1	2	4	6	①
	Ⅵ	5	6	6	②	3	22	20	5	①	3	5	6
女子	Ⅰ	1	2	1	4	2	10	18	6	4	1	4	3
	Ⅱ	2	2	1	6	5	16	11	①	5	2	1	2
	Ⅲ	5	1	3	①	4	14	13	2	2	3	2	4
	Ⅳ	3	5	4	5	6	23	16	4	1	5	5	①
	Ⅴ	4	4	4	2	①	16	18	3	3	4	3	5
	Ⅵ	6	6	5	3	3	22	29	5	6	6	6	6

。ボール投げ

男子42年度は地域Ⅱを除き順位の合計にあまり差はみられないが、43年度では大別し

第8表 ボール投げにおける地域別順位

地域 性	年齢	43年度						42年度					
		14	13	12	11	10	合	合	10	11	12	13	14
男子	Ⅰ	2	6	2	②	③	15	17	4	4	3	3	3
	Ⅱ	5	3	4	6	6	24	23	6	5	6	3	3
	Ⅲ	1	2	5	③	4	15	13	②	3	2	3	3
	Ⅳ	2	①	2	①	①	7	14	①	①	4	6	2
	Ⅴ	5	3	6	5	4	23	17	3	2	5	1	3
	Ⅵ	2	3	①	③	①	10	14	5	6	1	1	1
女子	Ⅰ	6	5	6	5	5	27	24	5	5	4	6	4
	Ⅱ	5	4	4	6	6	25	27	6	6	6	5	4
	Ⅲ	4	2	①	④	③	14	15	3	②	3	4	3
	Ⅳ	①	①	③	①	①	7	8	①	③	②	①	①
	Ⅴ	②	5	5	③	4	19	20	4	4	4	2	6
	Ⅵ	3	3	②	②	②	12	8	②	①	①	2	2

て上, 中, 下に分類され, 上はⅣ・Ⅵ, 中はⅠ・Ⅲ, 下はⅡ・Ⅴとなる。女子についてみると, 特に良くて目立つのはⅣの地域で42・43年度とも各年代を通して, 県および全国平均値を上回り順位の合計においても7・8と他の地域に比べ大差をつけている。逆に悪くて目立つのは, 地域Ⅰ・Ⅱで男子よりも女子にその傾向が顕著である。以上ボール投げについてまとめると都会よりも田舎の方が勝れ, その傾向は男子よりも女子に著しく, 中でも農山村, 山村はすばらしく記録が良い。第14表より, 中学生はほとんどが全国平均を下回っているが10歳の小学生は42・43年度とも全国平均値を上回っている。

○懸垂屈伸・斜懸垂屈伸

第9表より男子43年度について記録の良い方からみると1位はⅥ, 次にⅣ・Ⅴ・Ⅲ・Ⅰ・Ⅱの順である。42・43年度について大別すれば2つに別れ, Ⅰ・ⅡとⅢ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵである。第14表より, 42年度の12歳, 43年度の10歳以外は, 各年令にわたり42・43年度とも全国平均を上回っている。中でも第9表より, 43年度でⅣとⅥが一段とレベルを上げている。女子については, Ⅰ・Ⅱ・ⅥとⅢ・Ⅳ・Ⅴに2分され, 前者は記録が悪く後者は記録が良い。第14表によれば中学生女子はほとんど全国平均より劣っている。42・43年度の男女について概観すれば, 市街地・へき地よりも農村・農山村地域が記録は良い。

第9表 懸垂屈伸・斜懸垂屈伸における地域別順位

性	地域	年令	43年度					42年度						
			14	13	12	11	10	合	合	10	11	12	13	14
男	Ⅰ		5	③	6	③	5	22	23	4	4	6	4	5
	Ⅱ		6	6	③	6	6	27	26	6	6	5	4	5
	Ⅲ		4	5	5	②	①	17	9	①	①	2	2	3
	Ⅳ		③	①	②	5	2	13	16	③	3	3	3	4
	Ⅴ		②	③	4	④	3	16	7	②	②	1	①	①
	Ⅵ		①	②	①	①	3	8	17	5	4	3	4	①
女	Ⅰ		3	4	6	2	3	18	23	3	2	6	6	6
	Ⅱ		6	5	4	6	6	27	18	5	6	5	①	①
	Ⅲ		4	2	3	3	①	13	7	①	①	①	2	②
	Ⅳ		1	1	①	4	4	11	16	3	4	②	4	③
	Ⅴ		2	3	5	5	②	17	15	2	3	3	3	④
	Ⅵ		5	6	2	1	5	19	24	6	5	3	5	5

○ジグザグドリブル・持久走

ジグザグドリブルおよび持久走はいずれも時間を単位としているので両方をまとめて第10表に表わした。男子ジグザグドリブルについては地域Ⅲが42・43年度とも1位であり逆に兩年とも最下位は地域Ⅰである。女子でも男子と同様の傾向がうかがわれる。次に男子持久走についてみれば43年度はⅣ・Ⅵ, 42年度ではⅣが各年代ともほとんど全国平均を上回っており, 全国平均以下の地域として42年度では, Ⅰ・Ⅴ, 43年度ではⅠである。次に女子についてみると, 特に注目する地域として42・43年度ともⅣがあげられる。各年令にわたりすべて県および全国平均ともに上回っていることである。次にⅠ・Ⅱで順位の合計が示すごとく他の地域に比べ記録が悪い。42年度において, 良くて

目立つのはⅢ・Ⅳ・Ⅴ，悪くて目立つのはⅠ・Ⅵである。両種目・両年度・男女を合せ検討すればⅢ・Ⅳ・Ⅴの地域は記録が非常に良く，特に女子は顕著である。逆にⅠ・Ⅱ・Ⅵの地域は悪く，中でもⅠの地域はとくに悪い。第14表よりジグザグドリブルで11歳男女は42・43年度とも全国平均を上回っている。持久走において，女子はかなり全国平均を上回っているが，男子ではほとんど全国平均を下回っている。

第10表 ジグザグドリブル，持久走における地域別順位

地域 性	年度 年齢	43年度						42年度					
		14	13	12	11	10	合	合	10	11	12	13	14
男子	Ⅰ	5	6	6	5	3	25	26	3	5	6	6	6
	Ⅱ	3	5	③	2	6	19	13	4	①	5	①	2
	Ⅲ	6	4	④	2	4	20	18	①	6	②	5	4
	Ⅳ	②	①	②	5	5	15	13	4	4	①	①	3
	Ⅴ	3	③	5	①	①	13	13	②	3	4	3	1
	Ⅵ	①	②	①	4	2	10	20	6	②	③	4	5
女子	Ⅰ	5	6	6	5	6	28	27	6	5	5	6	5
	Ⅱ	6	3	4	6	5	24	19	4	4	6	4	①
	Ⅲ	③	②	5	4	3	17	10	③	②	①	2	②
	Ⅳ	①	①	①	①	①	5	11	②	③	②	①	③
	Ⅴ	4	4	③	①	②	14	12	①	①	3	3	④
	Ⅵ	2	5	②	①	4	14	26	5	6	4	5	6

○連続さか上り

第11表より男子で目立つのは43年度地域Ⅰ・Ⅵで，両地域は記録の差のひらきが大きい。42年度と比較すれば，1位と6位の差は43年度のように激しくなく，Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵは接近している。女子で目立つのはⅠで各年代とも最下位であるが，他の地域は男子と同様あまり差がみられない。

第11表 連続さか上りに関する地域別順位

地域 性	年度 年齢	43年度			42年度		
		11	10	合	合	10	11
男子	Ⅰ	6	6	12	10	4	6
	Ⅱ	4	4	8	10	5	5
	Ⅲ	2	5	7	3	2	1
	Ⅳ	②	2	4	5	2	3
	Ⅴ	4	3	7	7	5	2
	Ⅵ	①	①	2	4	1	3
女子	Ⅰ	6	6	12	11	6	5
	Ⅱ	③	5	8	8	4	4
	Ⅲ	①	4	5	3	2	1
	Ⅳ	②	②	4	6	3	3
	Ⅴ	4	3	7	6	4	2
	Ⅵ	4	①	5	7	1	6

筋の持久性をみるこのテストにおいて男女共通して言える点は都会と田舎の差，即ち田舎の方が勝れているということである。

② 地域別

①で種目別に地域を42・43年度を通して検討してきたが，今度は地域別に種目を検討した。各種目の順位の合計を男女合せて1～6位までつけ，まとめたのが第12表である。次に第6表～第11表の中で○印のついたもの（即ち，性・年齢・各種目の平均>県および全国平均，のもの）をまとめたのが第13表である。第12表，第13表より以下地域別に検討した。

第12表 種目別順位および総合順位

年度	地域	種目		走	跳	投	懸	持	ジ	連
		総合順位と合計								
43年度	I	6	32	4	2	4	5	6	5	6
	II	5	31	1	4	6	6	4	5	5
	III	2	19	1	1	3	3	4	4	3
	IV	1	16	3	5	1	1	1	3	2
	V	4	24	5	3	4	4	3	1	4
	VI	3	21	6	6	2	2	2	2	1
42年度	I	6	32	2	4	5	5	6	5	5
	II	4	26	1	2	6	5	4	3	5
	III	1	14	4	1	3	1	2	2	1
	IV	3	21	5	5	1	3	1	3	3
	V	2	18	2	2	4	2	3	1	4
	VI	5	29	6	6	1	4	5	5	2

(註) 種目に見られる、走……50m走、跳……走り幅とび、投……ボール投げ  
懸……懸垂・斜懸垂屈伸、持……持久走、ジ……ジグザグドリブル  
連……連続さか上りの略である。

。I. 商業、住宅市街地  
大規模校が多く施設用具が充実しているにもかかわらず各種目にわたり6地域中下位を占め中でも持久走、男子連続さか上りにおいては最下位である。第13表において、女子に県および全国平均を上回る種目が全然ないのは注目するところである。

第13表 性・年令別・各種目の平均>県および全国平均

地域	性	男子					女子					計43年	計42年
		10	11	12	13	14	10	11	12	13	14		
I	投	投、懸		跳、懸	走、跳							7	1
II		○	跳、持	懸、跳	特、走	走、跳	連、走		懸	懸、特		6	9
III	跳、投、○	懸、懸	跳、持、特	跳、特		投、懸	跳、連、投、懸	跳、連、持	持	持、特		16	16
IV	投、投、投、○	懸、懸	懸、持、特	投、持、懸、特	懸、持	投、投、投、○	跳、連、投、○	跳、連、持	投、持、特	走、持、特、○		24	19
V	跳、○	○		跳、持、懸、特	跳、懸	跳、○	跳、○	持		投、特		16	10
VI	投、連	跳、懸、特	投、持、特	懸、持	懸、持	投、連	投、投、○	持		持		20	7
計(43年)		9	12	9	12	8	11	12	7	3	6	89	
計42年		7	6	4	5	6	7	8	6	3	10		62

(註) 表中の○印は42年度の種目である。

。II. 鉱業、工業、その他の市街

Iの地域と同様下位を占める種目が多い中で特に50m走だけは6地域中42・43年度とも1位で目立っている。反対に最下位を占める種目はボール投げ・懸垂屈伸・斜懸垂屈伸である。

。III. 純農村、普通農村

県内で最も学校数が多く、農業を主とするこの地域では、走り幅とびにおいて42、43年度とも1位で、他の種目は走り幅とびほど良くないが県平均以上を占めている。

○Ⅳ. 山村, 農山村

田畑と山仕事を中心であるこの地域ではボール投げと持久走は6地区中1位で, 中でも女子のボール投げ, ジグザグドリブル, 持久走においては各年令にわたり42, 43年とも全国および県平均を上回るなど一貫した傾向が伺われる点は最も注目すべきところである。

○Ⅴ. 鉾山, 小都市, 都市近郊農村

大小規模校の入り混るこの地域ではあまり取り上げるほどの特徴はみられないが, ジグザグドリブルのみ6地域中1位で目立っている。

○Ⅵ. へき地

交通は不便で小規模校の多いこの地域では, 50m走, 走り幅とびが42, 43年度とも最下位であるのに比べ他の種目は県内では平均以上に位置している。

以上地域別に種目を42・43年度を通して概観すれば下記の1・2に要約される。

1. 走・跳力においては, 農村(純農村, 普通農村)が勝れ, へき地が劣る。
2. ボール投げ・懸垂屈伸・斜懸垂屈伸・持久走・ジグザグドリブル・連続さか上りは山村(農山村を含む)が勝れ, 市街地(商業, 住宅, 鉾業, 工業, その他)が劣っている。

第14表 県の平均値≧全国の平均値, の年令

性	種 目	年度・年代	
		42年度, 県≧全国, の年代	43年度, 県≧全国, の年代
男	5 0 m 走	⑫, ⑬, ⑭	⑬, ⑭
	走 り 幅 と び	12, 14	11, 12, 13, 14
	懸 垂・斜懸垂屈伸	10, ⑪, 13, 14	11, 12, 13, 14
	ハンドボール ソフトボール 投げ	10	10, 11, ⑬
子	持 久 走 (1500m)	13	
	ジグザグ ドリブル	⑪	11
	連 続 さ か 上 り	11	⑪
女	5 0 m 走	⑪, ⑬	11
	走 り 幅 と び		11
	懸 垂・斜懸垂屈伸	10, 11, 14	
	ハンドボール ソフトボール 投げ	10	10, 11, 12
子	持 久 走 (1000m)	14	12, 13, 14
	ジグザグ ドリブル	10, ⑪	
	連 続 さ か 上 り		11

(註) 数字に○印のついているのは, 県=全国のことである。

#### IV ま と め

以上42・43年度と比較しながら考察した結果をまとめれば次のようになる。

1. 運動能力において田舎（山村，農村）の子供の方が，都会（市街地）の子供より勝れている。中でも持久性を要する種目においてはその傾向が顕著である。

発育加速度現象の激しいこの年代において体格はめざましい発育を見せており田舎よりも都会の方が体格は勝れていたが，運動能力においては逆の傾向を示した。

#### 参 考 文 献

- 白神克義：体格と運動能力についての一考察，県立短期大学紀要第12号 1968  
猪飼道夫：日本人の体力，日経新書 1968  
大石三四郎：体育統計学，森北出版 1959  
文部省体育局スポーツ課：昭和43年度，体力，運動能力調査結果（速報）  
岡山県教育庁保健体育課：体育指導資料第5号 1968

昭和44年3月31日出稿



第1表 10才運動能力テスト

種目 性別	50m走			走り幅とび			ソフトボール投げ			斜懸垂屈伸			シグザグドリブル			連続さか上り			
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	
男	I	1,197	9.3	0.60	1,137	30.25	3.165	1,147	30.7	6.40	1,050	31.5	15.93	1,010	22.3	3.65	1,140	3.7	2.22
	II	714	9.2	0.61	753	30.66	3.285	731	29.9	6.46	716	27.9	15.21	719	23	3.51	731	4.2	2.11
	III	1,473	9.1	0.60	1,477	31.11	3.180	1,477	30.4	5.82	1,439	35.3	16.95	1,365	22.4	3.43	1,459	4.1	2.22
	IV	546	9.1	0.57	504	30.85	3.210	575	31.1	5.84	558	33.9	16.65	509	22.8	3.61	570	4.5	2.90
	V	1,697	9.1	0.58	1,500	31.15	3.210	1,511	30.4	6.02	1,360	32.4	15.66	1,340	21.7	3.35	1,455	4.3	2.46
	VI	294	9.1	0.65	295	31.90	3.495	325	31.1	6.22	246	32.4	16.52	226	22.2	3.56	275	5.1	3.13
合	5,721	9.1	0.60	5,656	30.83	3.225	5,766	30.6	6.10	5,369	32.6	16.19	5,170	22.2	3.56	5,630	4.2	2.39	
女	I	1,077	9.5	0.60	1,074	27.86	3.255	1,085	16.8	4.89	1,059	25.8	15.45	1,030	23.4	3.37	1,090	3.6	2.14
	II	720	9.3	0.66	720	27.32	3.135	721	16.4	4.69	721	23.2	12.84	699	23.1	3.15	730	3.8	1.75
	III	1,453	9.5	0.63	1,450	27.61	3.225	1,466	17.8	5.01	1,434	29.4	13.80	1,352	22.7	3.33	1,457	4.1	2.13
	IV	516	9.5	0.62	544	26.83	3.135	526	19.3	5.33	530	25.7	15.06	514	22.1	3.55	529	4.4	2.45
	V	1,522	9.5	0.77	1,521	28.33	3.197	1,521	17.4	4.90	1,502	29.0	14.79	1,407	22.3	3.30	1,471	4.2	2.36
	VI	255	9.6	0.69	213	27.62	2.762	272	18.7	4.48	212	26.2	14.61	204	23.0	3.65	234	4.6	2.90
合	5,543	9.5	0.64	5,522	27.84	3.207	5,591	17.5	5.02	5,458	27.6	14.97	5,206	22.9	3.36	5,511	4.1	2.27	

(註) N ... 標本数, M ... 標本値, S.D. ... 標準偏差

単位 50m走...秒, 走り幅とび...cm, ボール投げ...m, 懸垂屈伸および斜懸垂屈伸...回, シグザグドリブル...秒, 連続さか上り...回

第2表 11才運動能力テスト

種目 地域	50m走			走り幅とび			ソフトボール投げ			斜懸垂屈伸			ジグザグドリブル			連続きか上り		
	N	M	S.D	N	M	S.D	N	M	S.D	N	M	S.D	N	M	S.D	N	M	S.D
I	1,084	8.8	0.65	1,103	3,253	3,705	1,105	3,55	7.40	1,017	3.79	18.57	1,015	2.09	3.30	1,031	3.7	1.88
男	778	8.9	0.56	758	3,229	2,775	671	3.22	6.14	760	2.86	14.40	738	2.04	2.92	761	4.4	2.70
III	1,629	8.8	0.60	1,597	3,412	4,305	1,632	3.49	6.58	1,618	3.92	16.77	1,589	2.04	2.50	1,623	4.5	2.10
IV	581	8.8	0.61	598	3,277	3,360	588	3.58	6.40	585	3.37	15.24	555	2.09	3.84	562	4.5	2.32
V	1,530	8.9	0.65	1,533	3,303	3,585	1,532	3.43	6.60	1,510	3.59	14.85	1,434	2.01	2.61	1,491	4.4	2.09
VI	302	8.9	0.68	293	3,312	3,465	297	3.49	6.12	238	3.94	16.32	249	2.05	3.51	277	4.9	2.11
合	5,904	8.9	0.60	5,882	3,310	3,825	5,825	3.47	6.74	5,728	3.61	16.68	5,580	2.03	3.37	5,745	4.4	2.18
I	1,076	9.2	0.58	1,079	2,935	2,330	1,060	1.92	5.40	1,061	2.85	15.30	1,013	2.21	3.10	1,032	4.5	2.58
女	671	9.2	0.57	683	2,921	3,275	675	1.82	5.65	682	2.14	12.06	677	2.26	2.65	687	4.8	2.04
III	1,580	8.9	0.70	1,552	3,115	3,899	1,550	2.03	5.34	1,548	2.84	15.15	1,535	2.15	3.34	1,548	4.0	2.38
IV	540	9.1	0.57	552	2,929	3,360	563	2.20	6.00	540	2.81	18.62	525	2.08	3.27	537	4.9	2.23
V	1,428	9.2	0.57	1,414	2,987	3,374	1,431	2.04	4.42	1,416	2.75	14.28	1,347	2.08	3.20	1,381	4.7	2.31
VI	274	9.2	0.72	274	2,983	3,401	276	2.10	5.07	235	2.89	15.51	246	2.08	3.05	270	4.7	2.16
合	5,569	9.1	0.62	5,554	2,999	3,584	5,555	2.01	5.57	5,482	2.75	14.76	5,343	2.11	3.15	5,446	4.7	2.25

第3表 12才運動能力テスト

性別	50m走			走り幅とび			ハンドボール投げ			懸垂伸、斜懸垂屈伸			持久走		
	N	M	S D	N	M	S D	N	M	S D	N	M	S D	N	M	S D
	男	1,239	8.5	0.61	1,234	3.541	3.840	1,241	1.97	4.00	1,250	3.6	3.24	1,206	3.78.7
男	2,568	8.5	0.62	2,551	3.55.3	4.1.1.0	2,548	1.9.5	4.0.4	2,586	4.1	2.9.8	2,449	3.8.8.4	3.1.6.0
男	2,946	8.5	0.61	2,977	3.5.2.4	4.2.3.0	3,054	1.9.3	4.1.6	2,997	3.9	3.1.7	2,929	3.8.9.2	3.2.1.1
男	1,213	8.6	0.62	1,198	3.5.3.1	3.9.7.5	1,221	1.9.7	3.8.4	1,194	4.2	3.0.3	1,186	3.8.7.8	2.9.1.1
男	2,701	8.5	0.60	2,689	3.4.9.9	4.2.9.0	2,676	1.9.2	3.6.4	2,700	4.0	3.1.5	2,520	3.9.1.0	3.2.9.5
子	291	8.6	0.68	286	3.4.9.1	4.2.1.5	272	2.3.7	3.8.6	280	4.6	2.7.6	246	3.8.7.4	3.3.3.0
子	1,095.8	8.5	0.61	1,093.5	3.5.4.2	4.1.7.0	1,101.2	1.9.5	4.0.0	1,100.7	4.0	3.2.1	1,053.6	3.9.0.6	3.2.5.0
子	1,208	9.0	0.54	1,202	3.0.9.5	3.4.9.5	1,204	1.4.0	3.4.2	1,172	2.5.1	1.4.1.0	1,084	2.9.2.9	2.5.5.5
女	2,356	9.0	0.61	2,358	3.0.9.5	3.4.5.0	2,348	1.4.5	3.4.2	2,329	2.6.1	1.4.9.7	2,121	2.8.2.4	3.2.8.6
女	2,780	9.0	0.57	2,764	3.0.8.0	3.5.7.0	2,829	1.5.5	3.8.6	2,732	2.8.0	1.4.0.1	2,568	2.8.5.2	2.5.8.8
女	1,115	9.0	0.54	1,141	3.0.6.5	3.4.8.0	1,157	1.5.2	3.9.5	1,103	3.1.2	1.4.8.8	1,114	2.7.6.8	2.5.7.9
女	2,679	9.0	0.60	2,641	3.0.5.0	3.5.4.0	2,707	1.4.5	4.6.2	2,684	2.6.0	1.4.6.7	2,461	2.8.1.0	2.3.5.8
子	303	9.1	0.62	313	3.0.6.5	3.8.1.0	299	1.5.4	4.8.2	259	2.9.0	1.4.4.0	242	2.7.8.4	2.6.2.5
子	1,044.1	9.0	0.59	1,041.9	3.0.8.9	3.4.9.5	1,054.4	1.4.9	3.7.0	1,027.9	2.7.0	1.4.5.7	9,59.0	2.8.2.0	2.5.4.6

(註) 持久走 (単位…秒)

第4表 13才運動能力テスト

種目 地域	50m走			走り幅とび			ハンドボール投げ			懸垂屈伸・斜懸垂屈伸			持久走			
	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	N	M	SD	
男	I	1,239	8.1	0.63	1,191	377.5	412.5	1,230	21.8	3.94	1,232	5.9	3.37	1,179	376.9	367.6
	II	2,289	8.1	0.64	2,321	377.3	499.5	2,329	22.0	5.15	2,308	5.3	3.71	2,140	376.1	335.7
	III	2,957	8.1	0.63	2,946	377.5	524.3	2,956	22.1	4.10	2,970	5.6	3.74	2,814	374.5	333.1
	IV	1,324	8.2	0.59	1,346	364.6	455.8	1,344	23.7	4.69	1,358	6.3	3.51	1,310	366.3	288.1
	V	2,602	8.1	0.62	2,588	377.1	500.4	2,614	22.0	4.37	2,616	5.9	3.71	2,470	373.0	327.7
	VI	241	8.3	0.66	244	361.1	483.0	241	22.0	4.36	241	6.0	4.28	337	372.5	303.1
合	10,652	8.1	0.63	10,636	376.6	450.5	10,714	22.3	4.52	10,725	5.8	3.72	10,250	374.1	338.7	
女	I	1,214	8.9	0.62	1,186	317.1	342.0	1,265	14.4	3.14	1,201	24.8	10.66	1,016	291.3	244.3
	II	2,088	8.8	0.57	2,252	317.1	355.1	2,243	14.5	3.03	2,135	23.4	11.53	2,018	283.9	321.8
	III	2,713	8.8	0.59	2,730	317.5	433.1	2,764	14.9	3.18	2,619	27.4	14.37	2,465	283.3	263.9
	IV	1,269	9.0	0.59	1,311	315.6	364.4	1,268	15.9	3.19	1,266	29.8	14.57	1,145	275.4	344.3
	V	2,636	9.0	0.56	2,437	311.1	369.5	2,659	14.4	3.11	2,663	25.6	12.81	2,365	285.4	245.0
	VI	202	9.1	0.71	206	300.1	358.2	202	14.7	3.01	205	22.0	12.10	176	289.3	294.0
合	10,122	8.9	0.61	10,122	315.3	367.7	10,401	14.6	3.10	10,089	27.1	12.58	9,185	283.9	285.0	

第5表 14才運動能力テスト

種目 性別	5.0 m 走			走り幅とび			ハンドボール投げ			懸垂屈伸・斜懸垂屈伸			持久走			
	N	M	S D	N	M	S D	N	M	S D	N	M	S D	N	M	S D	
男	I	1,284	7.5	0.54	1,289	417.6	47.1	1,232	24.9	50.4	1,292	6.9	3.91	1,266	372.5	336.0
	II	2,344	7.7	0.53	2,357	398.5	53.55	2,462	24.7	44.2	2,118	6.6	3.87	2,392	365.5	313.5
	III	3,145	7.7	0.58	3,138	415.0	49.50	3,065	25.1	46.4	3,137	7.4	3.92	3,049	384.2	375.0
	IV	1,193	7.8	0.58	1,194	410.5	48.60	1,273	24.9	43.4	1,211	7.6	3.85	1,180	359.5	282.3
	V	2,958	8.2	0.59	3,005	418.0	49.65	2,953	24.7	44.8	2,963	7.8	4.16	2,811	365.5	321.7
子	VI	303	7.7	0.61	294	403.0	51.75	298	24.9	45.8	297	8.2	3.92	265	351.5	302.2
	合	1,227	7.7	0.92	1,277	415.0	40.65	1,283	24.9	47.2	1,101.8	7.4	4.03	1,096.3	369.5	34.89
女	I	1,238	8.7	0.67	1,263	321.4	36.90	1,248	14.8	30.9	1,214	29.1	14.60	1,115	297.1	284.8
	II	2,213	8.8	0.55	2,204	317.3	36.75	2,218	15.1	28.7	2,180	27.3	14.91	1,995	302.9	33.62
	III	3,073	8.9	0.61	3,076	315.1	39.90	3,091	15.8	32.8	3,070	23.6	13.05	2,815	291.2	27.33
	IV	1,264	8.4	0.61	1,283	317.2	39.15	1,299	17.8	34.6	1,279	30.3	14.12	1,199	268.2	300.9
	V	2,779	8.9	0.63	2,768	315.7	37.35	2,760	16.5	32.0	2,802	29.2	15.26	2,504	292.5	29.33
子	VI	251	9.1	0.61	257	307.4	39.30	259	16.2	34.9	230	27.4	12.53	206	289.5	27.66
	合	1,081.8	8.8	0.60	1,085.1	317.5	37.80	1,087.5	15.6	32.5	1,077.5	28.2	14.81	983.4	291.5	29.67